

地域言語（欧州・アジア）

※「英語エレクトティブ」の注意事項は2ページ目を参照

※「日本語科目」の注意事項は3ページ目を参照

< 注 意 事 項 >

- ◆ 母語または母語に準ずる言語は履修できません。
- ◆ 地域言語（欧州・アジア）は抽選科目です。
大学ウェブサイト>授業時間割関連情報の「履修登録の流れ」にしたがって抽選申し込みをしてください。
 - 1) 当選した学生は、必ず初回の授業に出席してください。
 - 2) 人数に空きがある授業のみ追加申し込みができます。空きがある授業を確認し、抽選科目追加募集期間中に、所定の手続きにしたがって申し込みを行ってください。
なお、履修・抽選科目登録締め切り時に履修登録者数が5名に満たない授業は、閉講となる場合があります。閉講になった授業、及び人数に空きがある授業はe-Campusに掲示されますので確認してください。
- ◆ 地域言語（欧州・アジア）は同一学期に同一言語の授業科目を、複数履修できません。
例) 「フランス語Ⅰ」と「フランス語Ⅱ」を同一学期に履修することはできません。
- ◆ 地域言語（欧州・アジア）の「Ⅰ」以外は先修条件があります。
原則として、各科目ともⅠ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ（→Ⅴ→Ⅵ）の順で履修しなければなりません。
ただし、一定以上の能力を有すると認められた学生は、学生からの申請により「Ⅱ」以上の授業科目から履修でき、レベルを飛び越えた履修を許可する場合があります。これを飛び級と呼んでいます。
飛び級により、「Ⅱ」以上の授業科目から履修した場合は、それより低いレベルの授業科目を履修することはできません。
例) 飛び級により「ドイツ語Ⅳ」を修得した学生は、「ドイツ語Ⅰ～Ⅲ」は履修できません。
- ◆ 地域言語（欧州・アジア）には履修年次の設定があります。履修ガイドを参照し、
飛び級により履修年次制限の解除手続きが必要な学生はオンラインでのお申し込みとなります。
手続き方法はMoodleオリエンテーション全学共通ページ・e-Campusに掲載いたします。
例) 2年生で1年次に飛び級で「コリア語Ⅳ」を修得し、春学期に「コリア語Ⅴ」（履修年次3年生以上）
- ◆ 「英語パスポート（Test Preparation Ⅰ）および「英語パスポート（Test Preparation Ⅱ）は、
原則として、英語パスポートコースの学生のみ履修可能です。英語パスポートコースの詳細は、
町田キャンパス コーナーストーンセンター事務室にお問い合わせください。（corners@obirin.ac.jp）

英語エレクトティブ

[対象：2014年度以降のカリキュラム適用者]

※「日本語科目」の注意事項は3ページ目を参照

< 注 意 事 項 >

- ◆ 英語エレクトティブは、各自の英語レベルによって、履修登録をすることができる授業科目に制限があります。

英語レベル1 ⇒ 「英語エレクトティブⅠ-初級」 抽選科目

英語レベル2 ⇒ 「英語エレクトティブⅠ-初級」 抽選科目
「英語エレクトティブⅡ-中級」 抽選科目

英語レベル3 ⇒ 「英語エレクトティブⅡ-中級」 抽選科目
「英語エレクトティブⅢ-上級」 抽選科目
「英語エレクトティブⅤ-特設」 履修制限あり。シラバスを確認すること。

- 1) 「英語エレクトティブⅤ-特設」は、抽選科目ではありませんが、履修の制限があります。詳細はシラバスを確認してください。
- 2) 各自の英語レベルは入学時のオリエンテーションで配布されます。また、「英語コアⅡA」「英語コアⅡB」履修後のCASECのスコアにより自動更新されます。レベルが更新された者はe-Campusに掲示されますので確認してください。なお、2年次以降は毎学期、レベル更新の機会があります。詳細はe-Campusに掲示されます。
- 3) 必ず初回の授業に出席してください。
- 4) 抽選科目の場合、人数に空きがある授業のみ追加申し込みができます。空きがある授業を確認し、抽選科目追加募集期間中に、所定の手続きにしたがって申し込みを行ってください。なお、履修・抽選科目登録締め切り時に履修登録者数が5名に満たない授業は、閉講となる場合があります。閉講になった授業、及び人数に空きがある授業はe-Campusに掲示されますので確認してください。

- ◆ 「英語エレクトティブⅤ-特設」は週に2回（2単位）、それ以外の「英語エレクトティブ」は週に1回（1単位）の科目です。各科目にはカッコがついており、カッコ内の表記はクラスの内容を示しています。カッコ内の表記を含めて1つの科目名となり、同一科目名の履修は1回のみです。

- ◆ 英語レベル判定テスト（CASEC）を受けたことがない者（レベル未取得者）が履修を希望する場合は、必ずオリエンテーション期間中に実施する英語レベル判定テストを受けてください。英語レベル判定テストの申し込みフォームはMoodleオリエンテーション全学共通コースコーナーストーンセンター（英語レベル）からアクセスが可能です。テスト日時・申し込み期間もMoodleオリエンテーション全学共通コースよりご確認ください。

日本語科目

[対象：日本語を母語としない学生]

< 注 意 事 項 >

- ◆ 日本語科目は、外国人留学生、帰国生等、日本語を母語としない学生を対象とする科目です。
留学生入学者特別選抜以外の入試によって入学した学生が履修を希望する場合は、日本語担当の専任教員かアドバイザーに申し出てください。

- ◆ 日本語科目は、科目ごとにレベル(L1～L6)が決められていて、履修できるかどうかはレベルチェックテスト・前学期までの履修内容の結果により担当教員が判断します。
担当教員の許可により、判定されたレベル以外の科目を履修できる場合もありますが、学群生は「日本語Ⅰ～Ⅵ」および「日本語演習」のL1～L2の科目を履修することができません。RJ生は授業開始前の日本語科目履修説明会およびレベルチェックテストを受けてください。学群生も、レベルの判定を受けてから履修してください。詳細は掲示等で確認してください。

- ◆ 日本語科目のレベル（L1～L6）はクラス名に記載されています。
自分のレベルのクラスを履修登録してください。ただし、以下の科目はレベルが付いていませんが、Ⅰ～Ⅲがレベルを表しています。レベルに合ったクラスで履修することになります。
どのクラスを履修登録していいかわからないときは、日本語担当の専任教員に連絡をしてください。
 - ・日本語演習(読解Ⅰ)、日本語演習(読解Ⅱ)、日本語演習(読解Ⅲ)
 - ・日本語演習(文章表現Ⅰ)、日本語演習(文章表現Ⅱ)、日本語演習(文章表現Ⅲ)
 - ・日本語演習(口頭表現Ⅰ)、日本語演習(口頭表現Ⅱ)、日本語演習(口頭表現Ⅲ)

- ◆ グローバル・コミュニケーション学群生は「日本語演習」は履修できません。

- ◆ 留学生等を対象として以下のような科目も開講されています。各科目の所属するページを参照してください。
 - 「地域社会参加 (Social Problems of Japan)」：2020年度以前生／基盤教育科目
 - 「地域サービスラーニング(Social Justice)」：2021年度以降生／基礎教育科目
 - 「地域社会参加 (多文化学生による協働学習)」：2020年度以前生／基盤教育科目
 - 「地域サービスラーニング(多文化協働学習)」：2021年度以降生／基礎教育科目
 - 「キャリアデザインC/キャリアデザインⅠ(留学生用)」：基盤教育科目
 - 「キャリアデザインD/キャリアデザインⅡ(留学生用)」：基盤教育科目
 - 「多言語交流演習」：リベラルアーツ学群の専攻科目